

科目名	神経系の構造・機能・病態			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間 (1単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科2年	必修・選択	必修	
〔授業の目的・ねらい〕								
脳血管障害、頭部外傷、脳腫瘍を中心に主な脳神経外科疾患の病態、診断、治療に関する知識を学ぶことで言語聴覚療法に必要な知識を習得する。								
〔授業全体の内容の概要〕								
脳血管障害、頭部外傷、脳腫瘍を中心に主な脳神経外科疾患の病態、診断、治療に関して学ぶ。								
〔講師の実務経験〕								
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕								
本科目は言語聴覚の根幹を成すものであり、したがって学習者に相応の努力を（毎回の予習と復習）が求められる。そのため授業への集中度をチェックする方策を導入する。								
回数	講義内容							
1	中枢神経の機能とは							
2	〃							
3	運動伝達経路							
4	感覚 〃							
5	髄液の循環							
6	大脳半球の構造、機能							
7	〃							
8	大脳辺縁系の機能							
9	大脳深部 〃							
10	大脳局在について							
11	〃							
12	〃							
13	連合野について							
14	〃							
15	〃							
【 準備学習・時間外学習 】								
【 使用テキスト 】								
書籍名			著者名			出版社		
病気がみえるVol.7 脳・神経 第2版			医療情報科学研究所			メディックメディア		
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】								
試験の結果を100点満点として成績を評価する。試験は定期試験のみ実施とし、60点以上の場合に科目を認定する。								